

地鎮祭

～土地の神様にご挨拶を申し上げ、工事の無事を祈願する～

家の新築工事や、土木工事などにとりかかる際その土地をお守り下さる神さまにご挨拶申し上げ工事の安全と無事の竣工を祈願する祭儀を「地鎮祭」(じちんさい) といいます。

地鎮祭は建主が中心となって執り行う祭儀で、日柄の良い大安・友引・先勝などに、建築業者も参列して建主と共に工事の順調な運びをお祈りいたします。



祭場をおつくりするには、先ず土地の中央に斎竹(いみだけ)と呼ばれる特別な青竹を2本四方に杭を打って立てます。斎竹に囲まれた空間は清浄な空間となります。更に、神聖な場所を示す注連縄(しめなわ)を張りめぐらせます。ここに祭壇を設け中央には、神さまのお寄りになる場所として、榊(さかき)に麻と紙垂(しで)をつけた神籬(ひもろぎ)を立てます。手前には神饌(しんせん)と呼ぶ、お供えものをそなえます。

◆準備について

- 祭具** 斎竹4本(2、5本)、注連縄、榊(さかき)、杭(くい)4本
神饌(お供え物) ①お米(2～3合) ②お酒(一升) ③魚(尾頭つき鮮魚)
④海菜(昆布、するめ) ⑤野菜 ⑥果物 ⑦塩(一合弱) ⑧水(500㍓)
⑨その他 紙コップ(参列人数分)

※野菜・果物は季節のものを彩りを考えて一盛ずつ御用意願います。

お供え物は神さまにお上げするものですので、清浄を旨とし、心のこもった新しく良いものを選んで準備するよう心がけて下さい。

- ◆式は参列者を祓い清める「修祓(しゅばつ)」から始まり、続く「降神(こうしん)」で神さまを神籬にお迎えし、お食事の神饌をお供えします。次に宮司による祝詞の奏上でお祈りの言葉を申し上げ、永久に災害等が無いように土地のお清めをいたします。次いで玉串(榊の枝)に願いを込めて、建主から順に拝礼を戴きます。次いで、お供え物をお下げし、「昇神」で神さまには、この土地に御神徳を残して、元の神社へお帰り願います。その後「直会(なおらい)」というお供えしたお神酒を一同で戴く儀式があり、終了いたします。

- 例えば中古住宅をお求めの方もリフォーム後、これに習い家中の清祓えをいたします。取り壊し時にも「清はらい」を行います。詳しくはお尋ねください。

おぼえ

- ・初穂料(神前へ納めていただく料金)の目安は3万円です。
- ・神社側「神饌」の用意を希望の方は別途1万円お納め願います。
- ・雨天模様の場合は、日程等ご相談願います。

霊泉の杜 瀧宮神社

☎048-571-0741 FAX048-578-7406

無断転載を禁ず